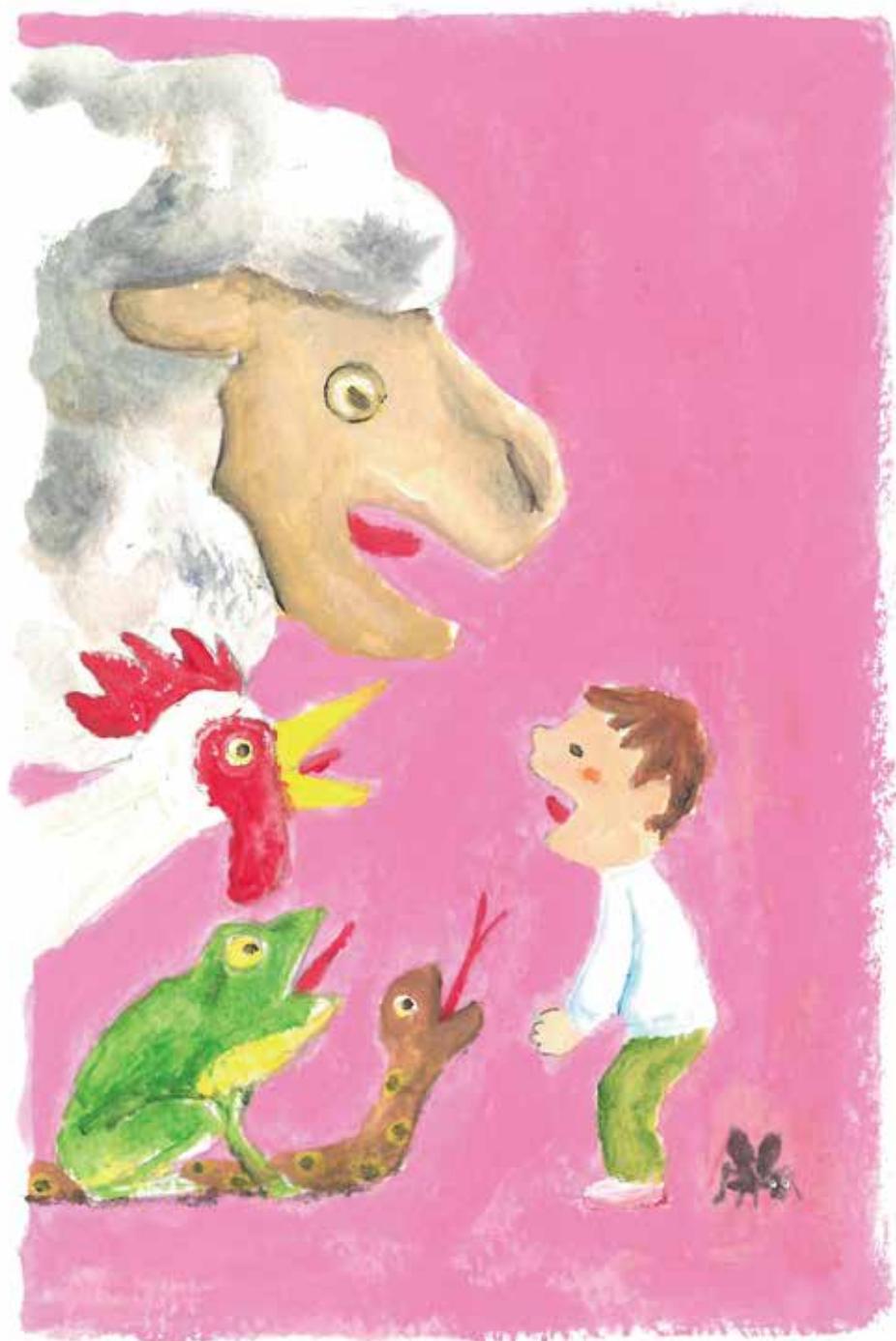




れ

レロレロと 舌をうごかし おしゃべり練習



かつて子育てをしていた人は皆やつて
いたことですが、赤ちゃんに自分の口を見せて、舌を出し、その舌を左右（上下）に動かしながら「レロレロ」とするという遊び。これには赤ちゃんが「食べる」ための大重要な要素が詰まっています。

赤ちゃんは、指をなめたり、自分の握りこぶしを口に入れたりしますが、食べ物を口に入れる前段階として、手に持った物を口で確かめたり、同時に「あむあむ」と上下に口を動かすことも経験しています。

食べ物を食べるためには、上下の口の運動と共に、舌を動かす練習が必要なので、「レロレロ」と舌を動かすこの遊びは、その動作を促してもいるのです。

赤ちゃんがまねてくれるまで「レロレロ」を続いていると、やっている大人の口の機能UPにも繋がります。

みんなで「レロレロ」しませんか？

食べ物を食べるためには、上下の口の運動と共に、舌を動かす練習が必要なので、「レロレロ」と舌を動かすこの遊びは、その動作を促してもいるのです。